

Flow Studio

コンテンツ

関連するマニュアル(英文)

序文

Flow Studio を初めてお使いになる方へ

インストール

Flow Studio の構成要素

Flow Studio のワークフロー

Flow とは

ハードウェアユーザーインターフェース

初めてのセッション

ジェネラルファンクション(機能説明)

Flow モード

Flow セレクター

Flow

Detail モード

シグナルチェーン

Detail

DAW モード

DAW コントロール

パラメーターのリンク

Flow Studio 設定

関連するマニュアル(英文)

<https://www.softube.com/user-manuals/flow-mixing-suite>

<https://www.softube.com/user-manuals/flow-mastering-suite>

https://www.softube.com/user-manuals/DAW_Control

序文

私たちは長年にわたりハードウェアコントローラーを製作してきました。その始まりは Console 1 です。これは、クラシックなチャンネルストリップをコントロールするための、ノブ 1 つにつき機能を割り当てるといった画期的なコンセプトに基づいた製品でした。Console 1 は、細部にまでこだわり、長年の経験と耳の感覚を頼りに作業を進めるミキシングエンジニアのために開発されました。

Flow Studio は、インスピレーションが湧いた瞬間に素早く作業を進め、セッション構築中も集中力を維持する必要がある音楽プロデューサーのために開発されました。Flow Studio を使うことで得られる結果は、迅速かつ即座に反映されます。リバーブ、ディレイ、ギターアンプ、EQ、コンプレッション、ピッチ補正など、制作のほぼすべての部分を網羅するシグナルチェーンをハンズオンでコントロールすることで、大きな音色の変化を実現できます。Flow の操作感覚は、プロデューサーが時間を節約しながら、そして何よりも楽しみながら、自分らしいサウンドを見つけるのに役立ちます。



Flow Studio を初めてお使いになる方へ

インストール

最新のインストール手順については、

<https://www.softube.com/get-started-with-flow-studio>

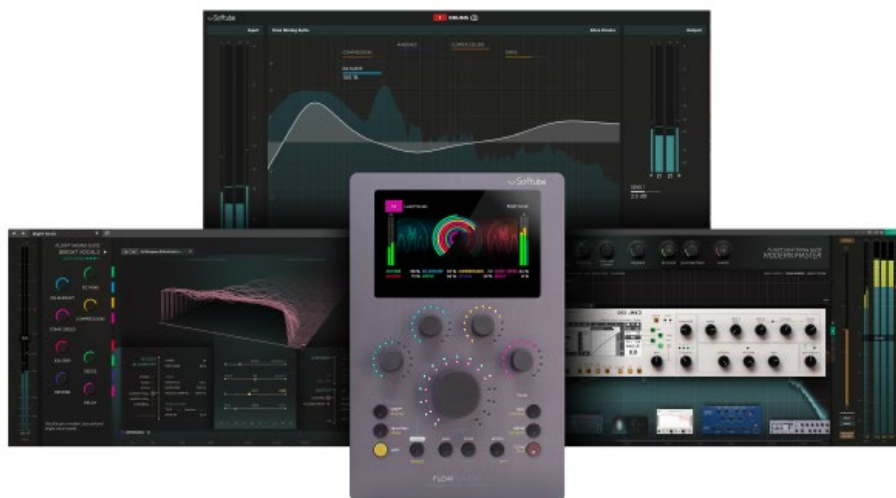
をご覧ください。

Flow Studio の構成要素

Flow Studio は以下の構成要素から成ります。

- Flow Studio ハードウェア: Flow Studio に関するすべての操作をコントロールするメインコントローラーです。
- Flow Mixing Suite プラグインまたは Flow Mastering Suite プラグイン: オーディオ処理を実際に行うユニットです。
- Softube On-Screen Display: 設定やトラックに関する情報を表示する大きなウィンドウです。

また、プラグインとハードウェア間の通信がスムーズに行われるようにするメインアプリケーションでもあります。



Flow Studio は、手前から奥に向かって、ハードウェア、Flow Mixing/Mastering Suite プラグインウィンドウ、そしてオンスクリーンディスプレイアプリケーションの 3 つの部分から構成されています。

このマニュアルでは、Flow Mixing Suite プラグインの使用方法について説明します。Flow Mastering Suite プラグインの操作方法はほぼ同じですが、このオプションは Flow Mastering Suite に含まれるプラグインを所有しているユーザーのみが利用できる点にご注意ください。

Flow Studio のワーク Flow には、これら 3 つの部分すべてが必要です。ハードウェアでオーディオをコントロールし、オンスクリーンディスプレイで変更内容を確認し、プラグインによって DAW 上でオーディオが処理されます。ハードウェアなしで Flow プラグインのみを使用することも可能ですが、全体的な操作性はハードウェアを前提として設計されており、ハードウェアを使用することでワーク Flow が大幅に改善されます。

Softube オンスクリーンディスプレイアプリケーションが常に起動していることを確認してください。これは、ハードウェア、DAW、プラグイン間のすべての通信を処理するアプリです。

Flow Studio のワークフロー

Flow Studio は、制作を 0%から 80%まであっという間に完了させるための、実践的な操作性を提供するように設計されています。

Flow Studio には 3 つの操作モードがあります。Flow モードでは選択したシグナルチェーンをコント

ロールでき、detail モードではコントロールしたい特定のプラグインパラメーターを選択でき、daw モードではボリューム、パン、ソロ、ミュートといった DAW 固有の機能を使用できます。

これらの 3 つのモードにより、ミックス全体を自在に操作し、大きな音色変化を素早く加えることができます。Flow Studio はミックス内のどのトラックにも使用できますが、特にクオリティとインスピレーションに満ちたサウンドが求められる制作の重要な部分で真価を発揮します。

Flow とは

心理学において、「Flow」とは、没入した精神状態を指します。この状態では、時間がゆっくりと流れ、深く集中し、心身が作業と一体化します。Flow Studio では、音楽プロデューサーが制作マインドセットにおいて、この Flow 状態を維持できるよう設計されています。

作業効率を高め、時間を節約し、最高の成果を上げながら、制作プロセスそのものを楽しむことができます。

Flow Studio には、あらゆるニーズに対応する、カスタマイズ可能なミキシングチェーン、つまり「Flow」で使用できる 20 種類以上のプロフェッショナルプラグインが付属しています。

各 Flow には、ハードウェアからアクセスできる最大 8 つの Flow コントロールが用意されています。これらは、シグナルチェーン内の複数のプラグインパラメーターをコントロールするマクロです。

Flow パックは随時追加されます。また、独自の Flow を作成することも可能です。

詳細については、該当する Flow プラグインのマニュアルを参照してください。

ハードウェアユーザーインターフェース

ハードウェアのすべての機能については、以降のセクションで詳しく説明します。まず、一般的な機能について説明し、次に Flow Studio の 3 つの特定のモードについて説明します。



Flow Studio ハードウェア

ディスプレイ:有効になっているモードに応じて、Flow Studio の現在の状態を表示します。

Flow ノブ:画面の下にある4つのノブです。これらは、現在選択されているモードに応じて機能します。

現在の名前と機能は、画面下部のテキスト行に表示されます。

Omni ノブ:本体中央にある大きなノブです。機能は、モードによって決まります。主な用途は、リストのスクロールと、サウンドと音量の調整です。

ボタンには主要な機能があります。Shift キーを押しながらボタンを押すと、二次的な機能が有効になります。二次的な機能は、以下のインデントされた項目で示されています。

- **OSD:** コンピューター上で Softube オンスクリーンディスプレイアプリケーションを開きます。
- **Display (Shift + OSD):** 画面に表示されるデフォルトの表示を切り替えます。
- **Favorites:** ユーザーがお気に入りのトラック、Flow、パラメーターをマークします。

- Show** (Shift + Favorites): お気に入りを表示します。
- Track**: セッション内のトラック一覧を表示します。
- Bypass** (Shift + Track): Flow Studio のサウンドをバイパスします。
- Solo**: トラックのサウンドをソロにします。
- OK** (Shift + Solo): 選択した項目を確定します。
- Mute**: トラックのサウンドをミュートします。
- Cancel** (Shift + Mute): 選択した項目をキャンセルします。
- Action/Next**: モードに応じて特定の機能を実行します。リストの次の項目に移動します。
- Prev**(Shift + Next): リストの前の項目に移動します。
- DAW**: DAW モードを有効にします。
- Settings**(Shift + DAW): Flow Studio の設定を開きます。
- Detail**: デイテールモードを有効にします。
- Compact** (Shift + Detail): コンパクトリストを表示します。
- Flow**: Flow モードを有効にします。
- Save**(Shift + Flow): ユーザープリセットを保存します。

初めてのセッション

Flow Studio を初めてお使いですか？以下の手順に従ってください。

1. Flow Studio を使用したいトラックまたはバスに、Flow Mixing Suite プラグインをインサートとして配置します。モノラルトラックの場合は、「Mono to Stereo」または「Stereo」としてプラグインを挿入してください。
2. 本体中央の Omni ノブを使って、作業するトラックを選択し、OK ボタンを押します。
3. Flow ボタンを押し、トラックに合ったシグナルチェーンを選択して OK ボタンを押します。

これで準備完了です！次のステップは、再生ボタンを押して作業を開始することです。

1. Omni ノブを回します。これにより、シグナルチェーンのすべての部分がアクティブになります。結果はすぐに明らかになるはずですが。
2. 4つの **Flow コントロール**を好みに合わせて調整します。これらのコントロールは、Flow Studio 画面下部に表示される名前に従って、シグナルチェーンのさまざまな部分をコントロールします。Flow コントロールで Shift キーを押すと、コントロールの第 2 レイヤーに切り替わります。
3. **Action** ボタンで Omni ノブのモードを選択できます。インプットまたはアウトプットボリュームを調整する必要がある場合は、Action ボタンを押してボリュームを調整してください。
4. トラックの現在のサウンドをよりクリアに確認したい場合は、**Solo** ボタンを押して選択したトラックのみを聴いてください。

5. プラグインウィンドウを開く必要はありません。トラックに配置するだけで、ハードウェアでコントロールできます。
6. 別のトラックを選択して作業を続行してください。

Logic Pro (AU) または Pro Tools (AAX) を使用している場合を除き、常に VST3 バージョンのプラグインを使用してください。1トラックにつき 1つのプラグインのみを使用してください。DAW のトラック番号は Flow Studio では一意であるため、1トラックにつき 1つのプラグインしか使用できません。複数のプラグインを使用すると、予期しない結果が生じる可能性があります。

ジェネラルファンクション(機能説明)



じ

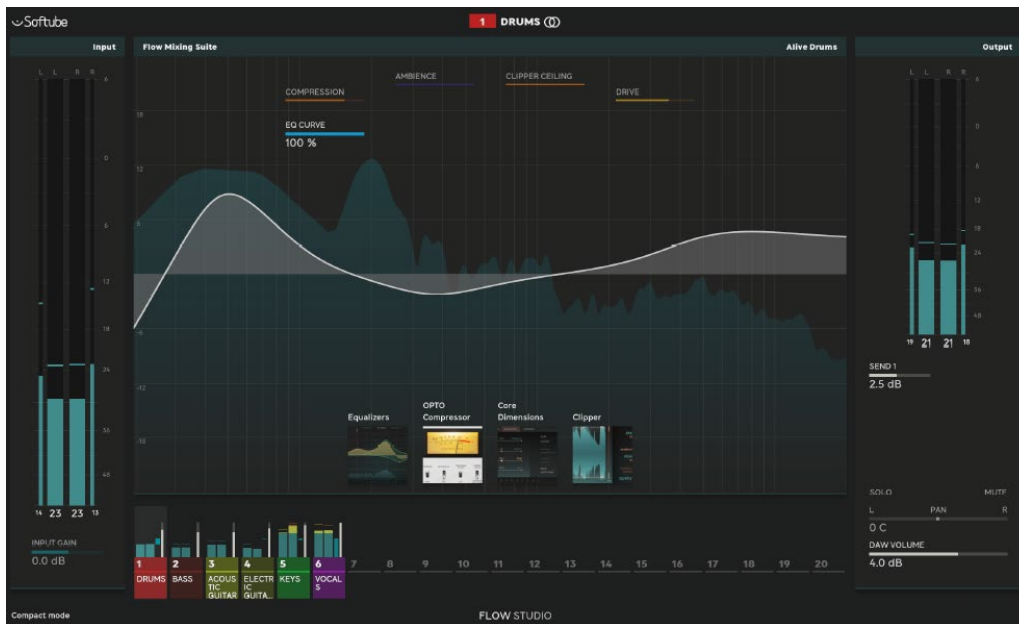
ジェネラルファンクションボタン

メニュー

Track、Flow、Settingsなどのメニューを操作するには、Omniノブと、Solo/OKボタン、Mute/Cancelボタンを使用して選択します。または、Next/Prevボタンを使用して、リスト内の隣接する項目に移動することもできます。

OSD(オンスクリーンディスプレイ)

コンピューター画面にオンスクリーンディスプレイ(OSD)を開きます。OSDは、セッションと作業中のトラックの概要を素早く確認できる、大きなセカンドスクリーンのようなものです。



オンスクリーンディスプレイ

下部には、ソロ/ミュート状態を含むセッション内のトラックが表示されます。側面には、現在のトラックに関する情報(インプット/アウトプットメーター、レベル、パン、センド)が表示されます。中央には、Flow、ディテール、DAW モード固有の機能とビジュアライゼーションが表示されます。

Display

Flow コントロールのビジュアライゼーション後に画面が戻るデフォルトのビジュアライゼーションを切り替えます。このビジュアライゼーションは、Flow モードでのみ表示されます。

Favorites

よく使う Flow、トラック、プラグインのパラメーターに簡単にアクセスするための機能です。

Favorites: アイテムをお気に入りとしてマークし、星印で表示します。

Favorites Show:: お気に入りとしてマークしたアイテムを表示します。

Track

1	Bass Bass	
2	Knack Bass	
3	Drums	Flow Mastering Suite
4	Synths & FX	Flow Mixing Suite
5	Organ	
6	Wurly	
7	Vocals	Bright Vocals

トラックリスト

セッション内のトラックリストを表示します。Flow プラグインがインサートとして挿入されているトラックには、ロードされている Flow の名前が右側に表示されます。Flow がロードされていない場合は、Flow プラグインの名前が表示されます。プラグインがロードされていないトラックには「DAW」と表示されます。DAW が Direct DAW Control をサポートしている場合、任意のトラックを選択して DAW の一部の機能を操作できます。サポートされていない場合は、Flow プラグインが挿入されているトラックのみを選択できます。

トラックを選択すると、Flow Studio は最後に選択されたモード (Flow、Detail、または DAW) に切り替わります。

Compact

Flow プラグインがロードされているトラックのみを表示するには、Shift キーを押しながら Detail ボタンを押します。

Bypass

読み込まれた Flow のサウンドをバイパスします。プラグインがトラックに挿入されている場合にのみ有効です。

Solo/Mute

DAW でソロ/ミュートを有効にします。DAW によっては、この機能を使用するためにプラグインを挿

入る必要がある場合と、そうでない場合があります。詳しくは「DAW コントロール」を参照してください。

Settings

Settings メニューには、Flow Studio のすべてのユーザー設定が含まれています。すべての設定のリファレンスは、以下の「Flow Studio 設定」セクションを参照してください。

Save

現在の Flow をユーザープリセットとして保存します。これにより、ファイル管理用のオンスクリーンディスプレイが開きます。ユーザープリセットは、Flow セレクターから読み込むことができます（下記参照）。

Flow モード

Flow モードを有効にするには、トラックに Flow プラグインを挿入する必要があります。



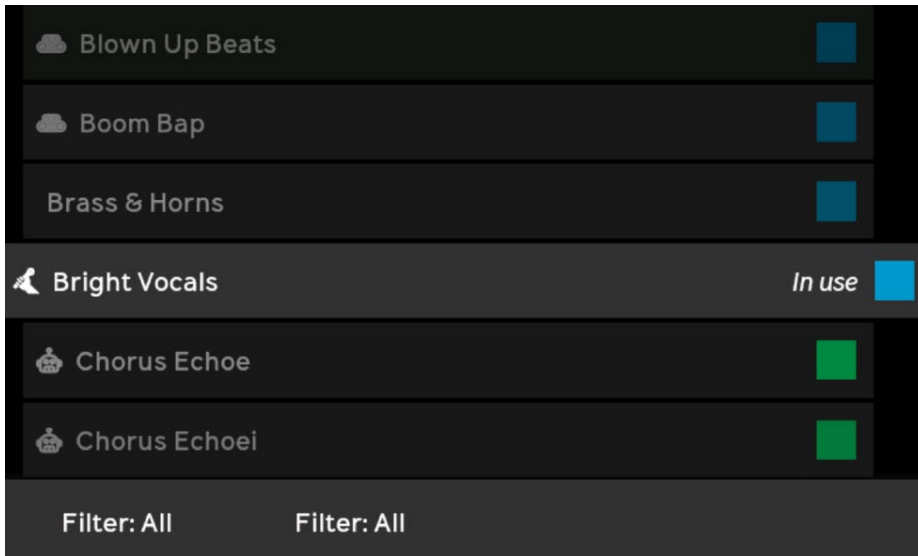
Flow mode ボタン

表示を切り替えます：

- ・Flow セレクター：選択可能な Flow のリスト
- ・Flow：現在のトラックにロードされている Flow

Flow セレクター

ここには、内蔵 Flow とユーザー作成 Flow の両方を含む、インストールされているすべての Flow が一覧表示されます。



Flow セレクター

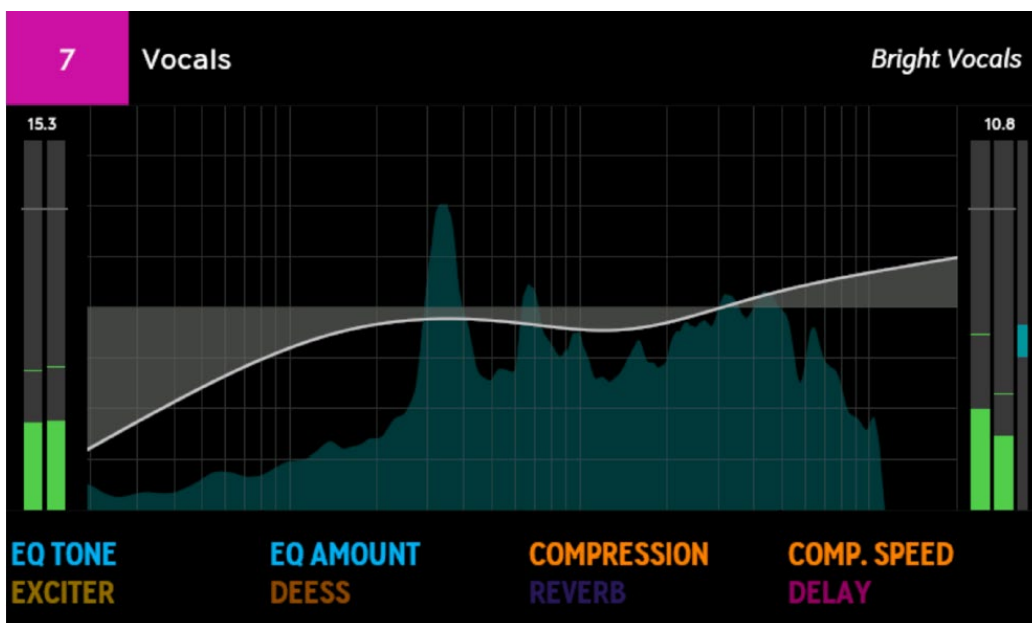
Filter(フィルター)

Flow ノブ 1 と 2 を使用して選択をフィルターできます。

- Flow ノブ 1:ドラムやボーカルなどのカテゴリで Flow をフィルターします。
- Flow ノブ 2:内蔵 Flow「Factory」、ユーザー作成 Flow「User」、およびユーザーのお気に入り「Favorites」でフィルターします。

Flow

現在のトラックにロードされている Flow を表示します。ここで、4 つの Flow コントロールを回してサウンドを変更します。



Flow モード

上段

上段には、トラック番号と色、トラック名、Favorites トラックマーカ―(設定されている場合)、ロードされている Flow 名 (Flow がロードされていない場合は Flow プラグイン名)が表示されます。

メーター

現在選択されているトラックの緑色のインプットメーターが左側に、緑色のアウトプットメーターが右側に表示されます。一番右の青色のメーターはゲインリダクションメーターです。

Flow コントロール

Flow コントロールは、複数のプラグインの複数のパラメーターを 1 回の操作で調整できる非常に強力なマクロコントロールです。Flow ノブ 1~4 は、画面下部の上段に表示される名前に従って、Flow 内のマクロ機能をコントロールできます。

- ・Shift キー: Flow で利用可能な場合は、2 層目の Flow コントロールにアクセスします。
- ・タッチ: 機能と、その機能がコントロールするプラグインパラメーターに関する情報を表示します。
- ・ダブルタップ: デフォルト値に戻ります。
- ・グレー表示: Flow コントロール名がグレー表示されている場合、Flow コントロールマクロは破損しています。詳しくは「パラメーターリンク」を参照してください。

ビジュアライゼーション

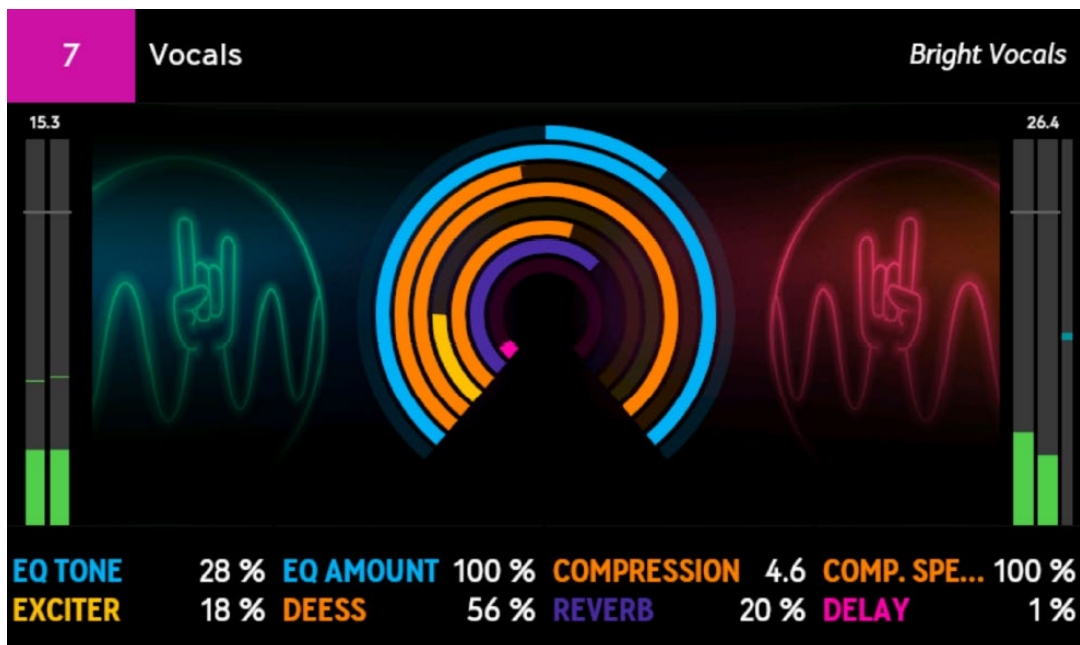
画面中央には、Flow コントロール専用のビジュアライゼーションが表示されます。

Action

Omni ノブのモードを切り替えます。

Omni ノブ

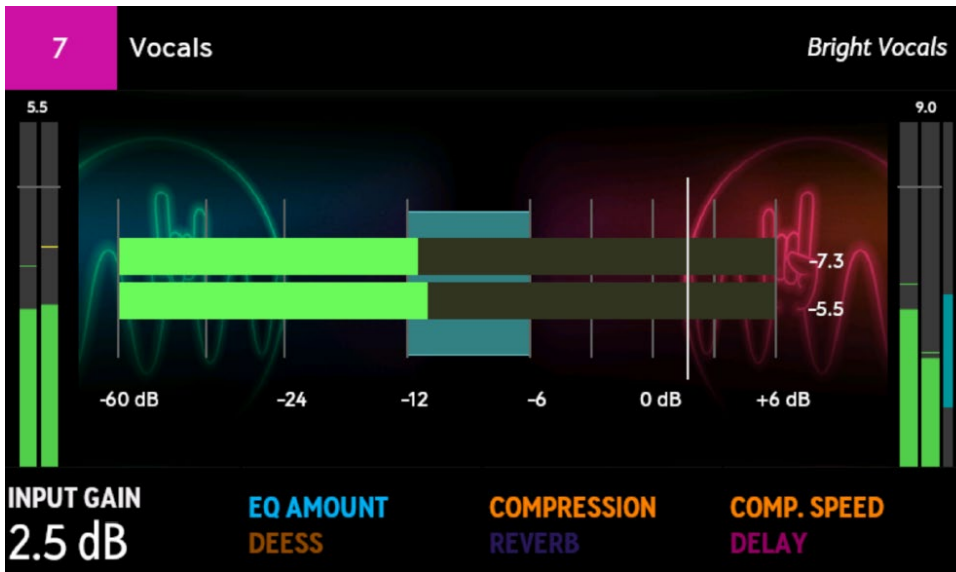
アクションで設定されたモードに応じて、Omni モードまたはボリュームをコントロールします(上記参照)。



Omni モード

ヒント！ Omni モードは、Flow を素早く試聴する強力な方法です。 Omni ノブを回して、「やりすぎ」なサウンド(例えば、ディストーションやリバーブ)を探し、関連する Flow コントロールを好みに合わせて調整してください。

- **Omni モード:** Omni ノブは、Flow 内のすべての Flow コントロールをコントロールします。
- **アウトプットボリューム:** Omni ノブはアウトプットボリュームをコントロールします。ほとんどの DAW では、これはトラック上の DAW フェーダーアウトプットです。一部の DAW では、Flow プラグインのアウトプットボリュームをコントロールします。お使いの DAW については、「DAW コントロール」を参照してください。
- **インプットボリューム:** Omni ノブは Flow プラグインのインプットボリュームをコントロールします。



インプットビジュアライゼーション

Flow のサウンドを最適にするには、適切なインプットボリュームを設定することが重要です。インプットボリュームビジュアライゼーションの「ボックス」で示されるように、ピークインプットボリュームを -12~-6 dB の範囲に保つことをお勧めします。

Display

Flow コントロールを回すと、そのコントロール固有のビジュアライゼーションが画面に表示されます。その後、画面には「表示」ボタンを押して選択したデフォルトのビジュアライゼーションが表示されます。

Detail モード

ディテールモードを有効にするには、Flow プラグインをトラックに挿入する必要があります。



ディテールモードボタン

Detail

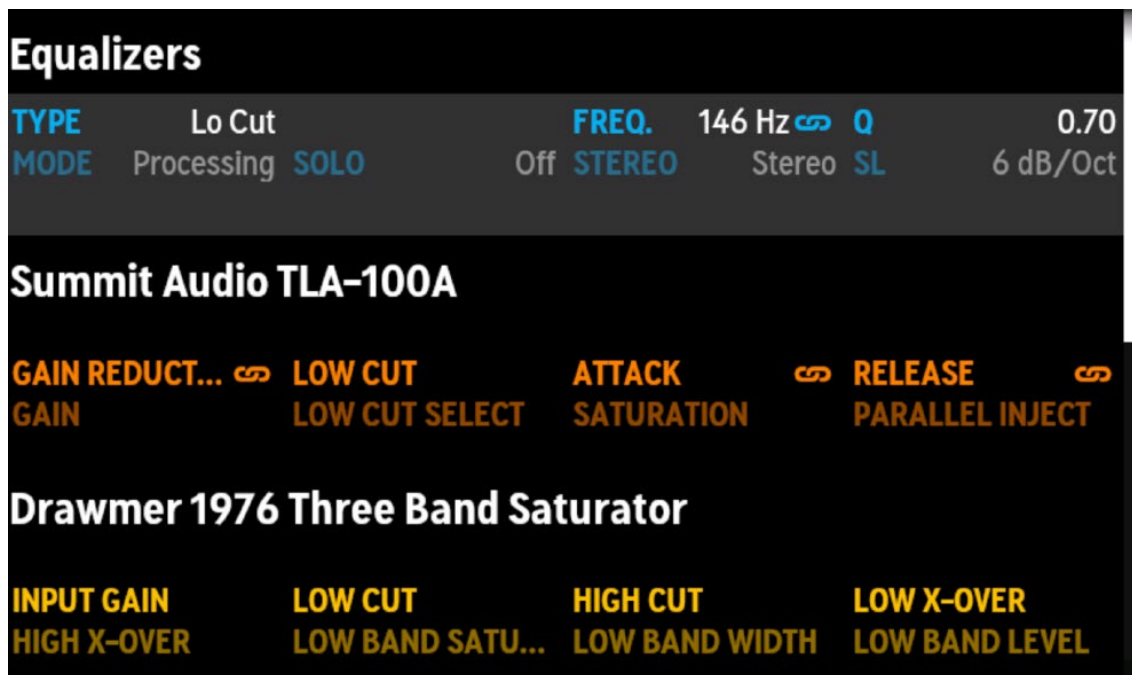
以下の表示を切り替えます。

シグナルチェーン:シグナルチェーン内のすべてのプラグインとそのパラメーターセットのリスト。

ディテール:現在選択されているパラメーターセット。これは、チェーン内の特定のプラグイン、またはコントロールしたい特定のパラメーターから選択できます。

シグナルチェーン

このビューには、シグナルチェーンに含まれるプラグインとそのパラメーターセットが表示されます。



シグナルチェーン

Flow コントロール

Flow コントロール 1~4 を使用すると、選択したパラメーターセットの行をリストから直接コントロールできます。Shift キーを押すと、選択した行の表示/非表示を切り替えます。

パラメーターセットの読み込み

Omni ノブを使用して、ディテールモードに読み込むパラメーターセットを選択し、OK を押します。

Action

プラグインのパラメーターを 1 行のみ表示するか、パラメーターセット全体を表示するかを切り替えます。

Favorites

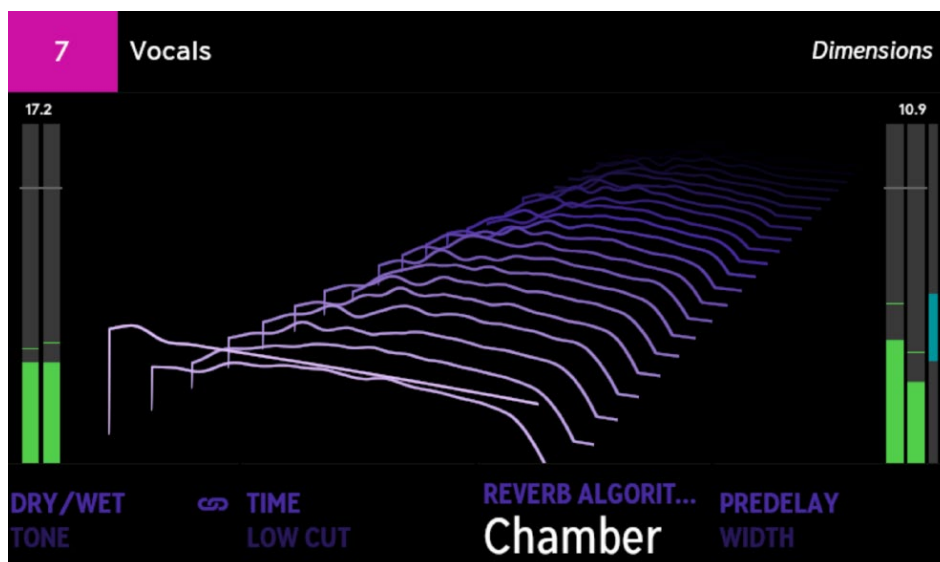
対応する Flow コントロールをタッチしてパラメーターを選択します。Favorites を押すと、このパラメーターをお気に入りとしてマークできます。お気に入りのパラメーターは、フロントページのシグナルチェーンリストの上部に表示されます。

ヒント！ Favorites は、フロントページからすばやくアクセスしたい重要なプラグインパラメーターのカスタムセットを作成するための強力な方法です。

チェーン内の異なるプラグインからパラメーターを選択できることに注意してください。

Detail

Flow モードではコントロールが不十分な場合があります。そのような場合は、ディテールモードを使用します。このビューでは、Flow コントロールを使用して、シグナルチェーン内のプラグインの特定のパラメーターを編集できます。



ディテールモード

上段

上段には、トラック番号と色、トラック名、お気に入りトラックマーカー（設定されている場合）、および選択したパラメーターセットを含むプラグイン名が表示されます。

メーター

現在選択されているトラックの緑色のインプットメーターが左側に、緑色のアウトプットメーターが右側に表示されます。一番右の青色のメーターはゲインリダクションメーターです。

Flow コントロール

Flow コントロール 1~4 を使用して、選択したパラメーターセットの行をコントロールできます。

- ・**Shift キー**: 利用可能な場合は、2 層目のパラメーターにアクセスします。
- ・**ダブルタップ**: デフォルト値に戻ります。
- ・**パラメーターリンク**: パラメーターがフローコントロールに接続されている場合、パラメーター名の横に閉じた鎖のシンボルが表示されます。開いた鎖のシンボルが表示されている場合は、パラメーターがフローコントロールからリンク解除されていることを意味します。詳しくは「パラメーターリンク」を参照してください。
- ・**グレー表示**: フローコントロール名がグレー表示されている場合、フローコントロールマクロが破損しています。詳しくは「パラメーターリンク」を参照してください。

ビジュアライゼーション

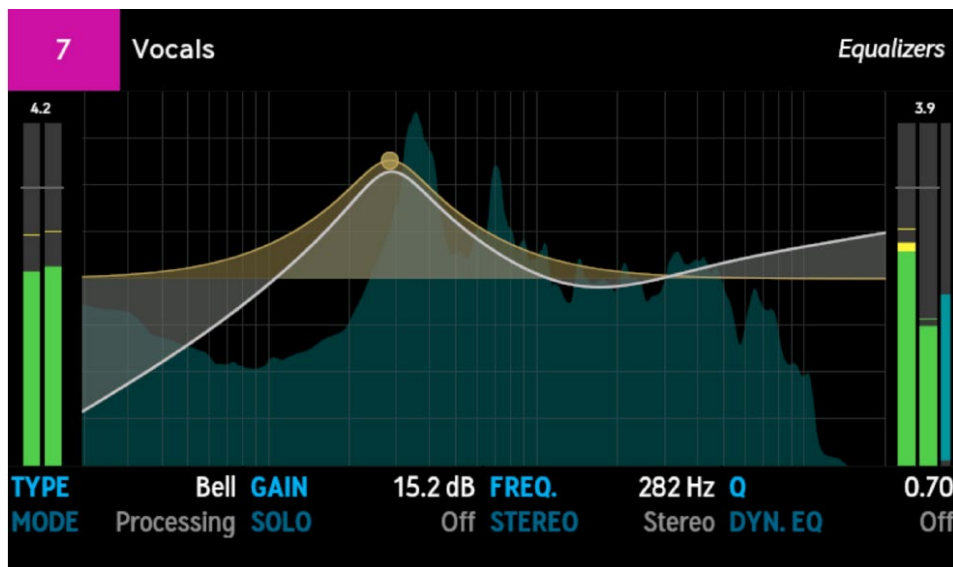
画面中央には、選択したプラグイン固有のビジュアライゼーションが表示されます。

Omni ノブ

選択したプラグインまたはフロントページのパラメーター行をスクロールします。

ヒント！イコライザープラグインには、ディテールモードでカスタムビューがあります。

Omni ノブを使用してパラメーター行をスクロールすると、現在選択されている EQ バンドがハイライト表示されます。これにより、EQ を適用したいバンドを簡単に見つけ、フローコントロールを使用してゲイン、周波数、または Q を調整できます。



イコライザーディテールモード

DAW モード

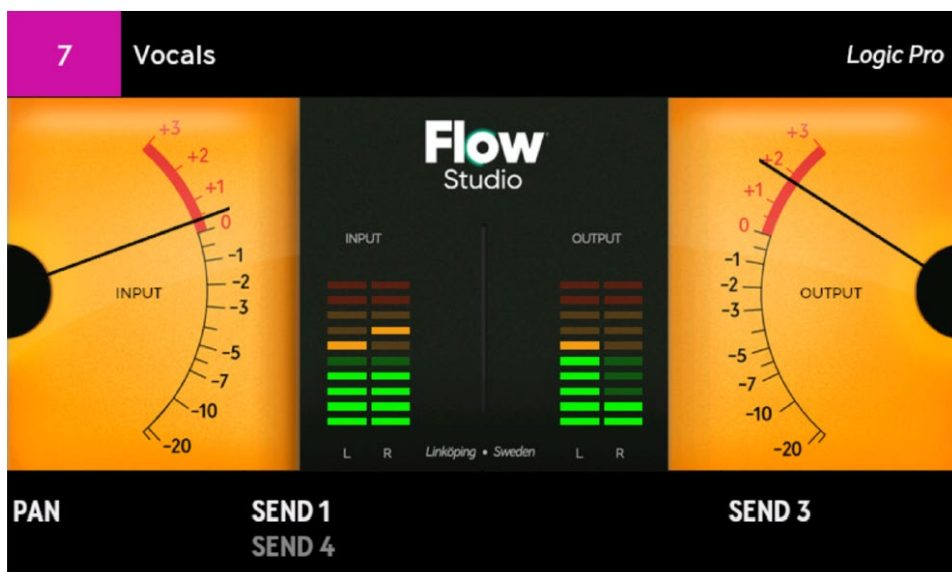
DAW モードでは、パン、ボリューム、センドなどの特定の DAW 機能にアクセスできます。

利用可能な機能は、使用している DAW によって異なります。詳しくは「DAW コントロール」をご覧ください。



DAW モードボタン

DAW モードを有効にすると、DAW モード画面が表示されます。



DAW モード

上段

上段には、トラック番号と色、トラック名、お気に入りトラックマーカー（設定されている場合）、DAW 名が表示されます。

Flow コントロール

Flow コントロール 1～4 を使用して、使用可能な DAW パラメーターをコントロールできます。

- **Shift キー**: 使用可能な場合は、パラメーターの第 2 レイヤーにアクセスします。
- **ダブルタップ**: デフォルト値に戻ります。
- **Pan**: Flow ノブ 1 は、使用可能な場合、DAW のパンをコントロールします。
- **Sends**: Flow ノブ 2~4 は、使用可能な場合、DAW のセンドをコントロールします。

Omni ノブ

アウトプットボリュームをコントロールします(使用可能な場合は DAW フェーダー、使用しない場合は Flow プラグインのアウトプット)。

DAW コントロール

ほとんどの DAW は DAW コントロールに対応しており、Flow Studio から DAW 内の特定の機能を使用できます。

詳細については、https://www.softube.com/usermanuals/DAW_Control を参照してください。

パラメーターのリンク

プラグインのパラメーターは Flow プラグイン内の Flow コントロールにリンクされており、リンクされたパラメーター——は Flow Studio 画面上で Flow ノブを長押しするか、Flow プラグイン内の Flow コントロールにカーソルを合わせることで確認できます。

リンクされたパラメーターを Flow Studio から直接調整することで、Flow コントロールの設定を上書きできます。

この場合、マクロは無効になり、Flow コントロール名が灰色に変わります。

Flow コントロールを再度調整すると、この設定は上書きされます。

パラメーターを Flow コントロールからリンク解除するには、「Flow コントロールマクロを破棄する際にパラメーターのリンクを解除する」設定を有効にします。

パラメーターのリンク解除は、Flow プラグインを使用して行うこともできます。

Flow Studio 設定

Flow Studio

Flow Studio ハードウェア固有の設定が含まれています。

• **Show Flow control info on touch**(タッチ時に Flow コントロール情報を表示): Flow コントロールをタッチして長押ししたときに、コントロールに関するコンテキスト情報を表示するかどうかを有効/無効にします。

• **Omni knob default mode**(Omni ノブのデフォルトモード): モードを変更するためにアクションを押す前に、Omni ノブがどのモードになっているかを指定します。Omni モードとアウトプットボリュームは、最もよく使用されるモードなので、どちらかを選択できます。

• **Flow visualization timer**(可視化のタイマー): 画面が特定の Flow コントロールの可視化表示から、ディスプレイで設定されたデフォルトの可視化表示に戻るまでの時間です。

• **Unlink parameter when breaking Flow Control macros**(Flow コントロールマクロを中断したときにパラメーターのリンクを解除: 有効にすると、パラメーターのリンクを解除するかどうかを確認する警告が表示されます。詳細については、「パラメーターと Flow コントロール」を参照してください。

• **Use sticky filters in Flow selector**(Flow セレクターでスティッキーフィルターを使用): 有効にすると、Flow を選択する際に、最後にフィルターされた選択が保持されます。

アナライザーモード

周波数アナライザーの減衰平滑化を選択します。デフォルトは「平均保持」です。

- **Fast**: 更新が速く、問題箇所の発見に役立ちます。
- **Slow**: 更新速度が遅く、異なる周波数帯域における音量レベルの違いをより正確に反映します。
- **Hold Average**: この設定では、非常に長い期間にわたる平均周波数特性を計算します。楽曲全体の周波数特性を確認したり、問題のある共振箇所を特定したりするのに役立ちます。
- **Hold Peak**: 平均保持と同じですが、周波数スペクトルのピーク値を強調します。楽曲全体の周波数特性を確認したり、問題のある共振箇所を特定したりするのに役立ちます。

アナライザーの位置

周波数アナライザーをインプット、アウトプット、または無効にするかどうかを選択します。デフォルトはアウトプットです。

アナライザーのブロックサイズ

ブロックサイズは、更新速度と周波数分解能のトレードオフです。ブロックサイズを大きくすると、周波数アナライザーの音声変化への反応速度は遅くなりますが、周波数分解能は向上します。デフォルトは 2048 です。

• **1024**: 周波数分解能 40Hz、毎秒 40 回更新します。

- 2048**:周波数分解能 20Hz、毎秒 20 回更新します。
- 4096**:周波数分解能 10Hz、毎秒 10 回更新します。

DAW 設定

Flow Studio と DAW の通信方法に関する設定です。

- DAW Control Settings**: Flow Studio と DAW の通信方法 (DAW コントロール) に関連する機能をオン/オフします。

DAW コントロール機能を備えた DAW でのみ適用されます。

DAW コントロール

DAW コントロールのオン/オフを切り替えます。オフにすると、DAW ボリューム、DAW パン、センドなどが無効になります。

トラック番号

トラック番号の自動生成をオン/オフします。

トラック選択

トラックの相互選択をオン/オフします。DAW でトラックを選択すると、Flow Studio でも選択され、その逆も同様です。

トラックカラー

トラックの自動カラーリングをオン/オフします。

- トラック名の変更...**:トラックの名前を変更します。トラック名と番号をサポートしていない DAW でのみ有効です。
- トラックの並べ替え...**:トラックを移動/並べ替えます。トラック名と番号をサポートしていない DAW でのみ有効です。

すべての DAW 設定オプションがすべての DAW で利用できるわけではありません。

ソフトウェア設定

Softube オンスクリーンディスプレイの一般設定が含まれています。

- Set current window position as default** (現在のウィンドウ位置をデフォルトに設定): オンスクリーンディスプレイの位置をデフォルトとして保存します。
- Set auto display delay** (自動表示遅延時間の設定): 自動表示モードでオンスクリーンディスプレイが消えるまでの時間を設定します。

ハードウェア設定

Flow Studio ハードウェアの一般設定が含まれています。

- **LED brightness**(LED の明るさ): Flow Studio ハードウェアの LED の明るさを設定します。低電力モードの場合、LED を最も明るい設定にできない場合があります。OK を押すとプリセット値を切り替えることができます。または、Shift キーを押しながら Volume/Select でスクロールして値を設定します。Cancel を押すとメニューを終了します。
- **Hardware display brightness**(ハードウェアディスプレイの明るさ): Flow Studio ハードウェアの画面の明るさを設定します。OK を押すとプリセット値を切り替えることができます。または、Shift キーを押しながら Volume/Select でスクロールして値を設定します。Cancel を押すとメニューを終了します。
- **Time showing clock before sleep**(スリープ前の時計表示時間): Flow Studio を使用していないとき、画面に時計が表示されます。この設定では、本体の電源がオフになりスリープ状態になるまでの時計表示時間を設定します。
- **Enable reset value on double tap**(ダブルタップで値をリセットする): ノブキャップをダブルタップしたときに、現在のパラメーターをデフォルト値にリセットします。

System Info

システム情報には、Flow Studio に関するシステム情報が表示され、コピーされます。

- **Copy system info**(システム情報のコピー): 関連するすべての情報(個人情報が削除されたもの)をコピー/貼り付けクリップボードにコピーします。これにより、サポートに問い合わせる必要がある場合に、メールに簡単に貼り付けることができます。
- **Open legal notices**(法的通知を開く): サードパーティライブラリの法的通知、ライセンス、著作権を表示します。別ウィンドウで開きます。
- **About Flow Studio**(Flow Studio について): ソフトウェアとハードウェアのバージョン情報を表示します。

Flow Studio についての説明は、DAW コントロールとダイレクト DAW コントロールのトラブルシューティングに役立ちます。テキストの下部には、DAW で現在使用されている機能(例: DAW トラック選択)と、使用されているダイレクト DAW コントロールプロトコル(例: 「Steinberg MIDI Remote」または「Pro Tools PTSCL」)が表示されます。

クレジット

Softube の全従業員が、この製品の開発と市場投入に貢献しました。